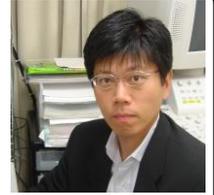




新しい展開を見せる糖尿病とその治療

～ その3 治療② ～

医療法人社団 有晃会 理事長 船本 全信



経口血糖降下薬は、2型糖尿病において血糖値を正常化させることで慢性合併症のリスク軽減目的で処方される薬物の総称です。従来日本ではインスリン分泌促進薬・速効型インスリン分泌促進薬・ブドウ糖吸収阻害薬・インスリン抵抗性(インスリンによる血糖低下効果の減弱～効きにくさ)改善薬という4種類の薬物が処方可能でしたが、最近ジペプチジルペプチダーゼ4 (DPP4) 阻害剤という新しいジャンルの治療薬が登場し期待を集めています。以下に各経口血糖降下薬の特徴について簡単に説明します。

インスリン分泌促進薬としてスルホニルウレア剤 (SU薬)があります。インスリン「基礎」分泌を促進する薬であるため「食前に」低血糖を起こしやすく、インスリン「追加」分泌を促進しないため食後高血糖のコントロールが難しい場合もあります。

速効型インスリン分泌促進薬としてフェニルアラニン誘導体(グリニド薬)があげられますが、この薬は5-15分で薬効を来し数時間で作用が消失します。この早く効いて、早く効果がなくなるという点がSU薬と大きく異なる点であり、SU薬がインスリン「基礎」分泌促進なのに対しグリニド系がインスリン「追加」分泌促進効果から「食後血糖」降下薬ともいわれています。

ブドウ糖吸収阻害薬としては α グルコシダーゼ阻害剤 (α GI薬)があります。糖質の消化吸収を緩徐にすることで血糖の上昇をおさえるので食後「過」血糖改善薬ともいわれます。この薬物は血糖値の食後のピークを減少させ、食事とともに摂取すると有効ですが食事以外の高血糖の治療には有効ではありません。

インスリン抵抗性改善薬としてはビグアナイド剤 (BG薬) やチアゾリジン系誘導体(TZD薬)があります。ビグアナイド剤 (BG薬) は肝臓に作用して糖新生(糖の製造)を抑え、筋肉での糖の取り込み(消費)を促進、さらに腸管でのブドウ糖吸収を抑制するため、体重は不変～減少します。BG薬や α GI薬による境界型糖尿病の糖尿病型への進展予防効果が報告されており、日本では α GI薬が、糖尿病発症予防の保険適応を取得しています。チアゾリジン系誘導体(TZD薬)は末梢組織のインスリン抵抗性改善を図る薬で、脂肪細胞に作用しブドウ糖の取り込みを増やす事で血糖が低下します。有効性及び安全性に性差があり、女性で浮腫を来し易いですが低用量で血糖降下作用を見る事が多い(その代わり肥満を助長することもあります)。

そして、近年画期的な新薬ジペプチジルペプチダーゼ4 (DPP4) 阻害剤が誕生しました。この薬効機序として次のことが考えられています。食事により消化管内に炭水化物や脂肪が流入すると、その刺激を受けて速やかにインクレチンという物質が小腸から血中に分泌されます。これは血糖値の上昇とともに膵臓からのインスリン分泌を増加させ、血糖上昇作用を持つグルカゴン分泌を抑制し血糖低下に働きます。ただ、2型糖尿病患者・境界型糖尿病の方ではインクレチンの効果が低下し、インスリン分泌が減弱していることが報告されています。さらには、生体内ではDPP-4と言う酵素で速やかに(数分で)分解され効果が失われてしまいます。このDPP-4の作用を抑制してインクレチンの作用を長時間持続させる薬がDPP-4阻害薬です。この血糖依存的に分泌されるインクレチンを有効利用し、低血糖を起こさずに(注意して使わないとやはり起こします!)、血糖コントロールを図れるというものです。またインスリン注射以外にも、インクレチン注射薬も発売されどんと糖尿病治療において多様なアプローチが可能となりました。いずれにせよ、管理目標はHbA1c <6.5%、食後2時間の血糖値<180(できれば140)mg/dlとなっており、より良くコントロールして脳梗塞や心臓病・眼底出血・透析といった合併症に悩まされないようにしましょう。

2月の予定

エコー検査	井上 Dr.	5(土)・19(土)
	杉山 Dr.	4(金)・18(金)・25(金)
専門外来(血液)	玉置 Dr.	9(水)・23(水)
専門外来(神経)	藤本 Dr.	5(土)・19(土)
食事相談	宮本管理栄養士	14(月)・28(月)



3月の予定

エコー検査	井上 Dr.	5(土)・19(土)
	杉山 Dr.	4(金)・11(金)・18(金)・25(金)
専門外来(血液)	玉置 Dr.	9(水)・23(水)
専門外来(神経)	藤本 Dr.	5(土)・19(土)
食事相談	宮本管理栄養士	14(月)



🎵 西宮市ワクチン費用の助成が始まります



2月1日より下記の三種類のワクチン費用の助成が開始されます。

西宮市在住で助成対象年齢の方は、この機会に接種する事をお勧めします。

種類	助成対象年齢	接種回数	窓口負担	助成対象外の方
ヒブ	0～4歳	生後 2ヶ月～6ヶ月 4回 7ヶ月～11ヶ月 3回 12ヶ月以上 1回	880円/回	5歳以上接種不要
小児用肺炎球菌	0～4歳	生後 2ヶ月～6ヶ月 4回 7ヶ月～11ヶ月 3回 1歳 2回 2歳以上 1回	1120円/回	11200円/回
子宮頸ガン予防	13歳～16歳 (中1～高1)	全年齢 3回	1590円/回	15900円/回

◎ ワクチンは予約を受けてからの発注になりますので、接種希望日の1週間前までには、お電話でご連絡、又は受付にお申し出下さい。

◎ 生活保護受給者及び非課税世帯の方は、必ず市が指定する無料券を持参して頂く様お願いします。



禁煙外来

“そろそろタバコをやめたい”
と思っておられるかた、当院では
禁煙外来も行っております。



是非ご相談下さい。

マルチビタミン サプリメント

毎日の食事では不足しがちなビタミンやミネラルなどの
栄養素の補給にいかがですか。

マルチビタミン
サプリメントの
取り扱いを行って
おります。

ご興味のある方は、
お気軽にお問い合わせ
ください。

